



第64回国民体育大会バスケットボール競技会



開催場所：新潟市亀田総合体育館  
 試合区分：少年女子 準決勝  
 開催期日：2009年10月4日(日)  
 開始時間：11:55

GAME No. 1004G2

主審：山崎 仁士  
 副審：増渕 泰久

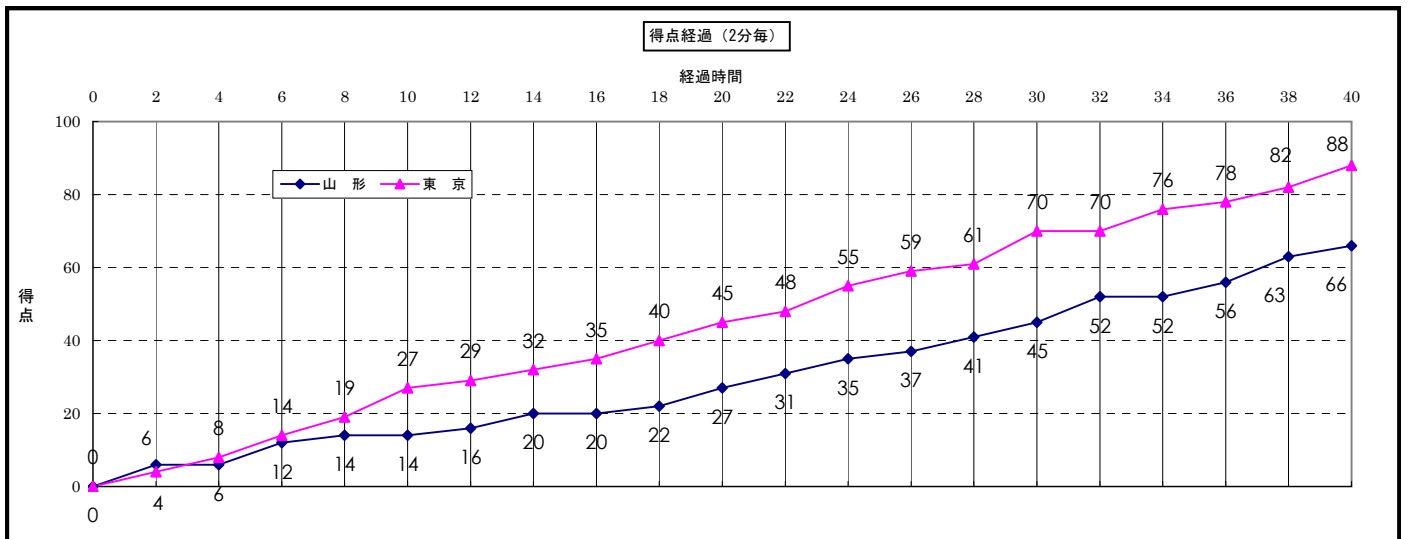
Team A <b>山形</b>	●	14 -1st- 27 13 -2nd- 18 18 -3rd- 25 21 -4th- 18	○	Team B <b>東京</b>
	66		88	

TEAM A		山形					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	佐藤 綾香	18	2	6	0	0
5	*	加藤 千尋	4	0	2	0	0
6		横山 史佳	2	0	1	0	4
7	*	武田 灯	12	1	3	3	0
8	*	小野 夏希	15	1	6	0	2
9		後藤 由喜	-	-	-	-	-
10		佐竹 美咲	-	-	-	-	-
11		原田 英里	-	-	-	-	-
12		上野 真実	-	-	-	-	-
13		細谷 映理菜	-	-	-	-	-
14	*	大沼 美琴	6	0	2	2	5
15		黒田 陽菜	9	0	4	1	1
Coach		高橋 仁	-	-	-	-	0
TOTAL			66	4	24	6	12

TEAM B		東京					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	金子 実由紀	13	3	2	0	0
5	*	山本 千夏	24	5	4	1	1
6	*	篠原 恵	10	0	4	2	0
7		丸山 菜摘	0	0	0	0	1
8		星野 彩夏	8	2	1	0	2
9		大滝 知子	0	0	0	0	0
10		佐藤 茜	4	0	2	0	1
11		張 静	8	0	2	4	0
12		藤木 茜	11	0	5	1	1
13	*	石原 愛子	6	0	3	0	0
14	*	森 木乃美	2	0	1	0	4
15		根岸 夢	2	0	1	0	1
Coach		下坂 須美子	-	-	-	-	0
TOTAL			88	10	25	8	11

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	11:50	15:29	22:55	34:08		

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	13:46	-	-	-		



ゲームレポート

\* 得点は、(Aチームの得点) - (Bチームの得点) で表記しています。

1Q, 両チームともマンツーマンでスタート。山形は#7武田のフリースローで先制する。その後は両チームとも一進一退の攻防を展開する。中盤から東京のディフェンスが厳しくなり、山形はなかなか得点することができない。東京は#5山本の活躍で得点を重ね、点差をつける。終盤も東京は攻撃のリズムを崩さず、優位に試合を進め、14-27で1Qを終了する。

2Q, 山形は開始2分でタイムアウト。ディフェンスを2:3のゾーンディフェンスに変える。東京は山形のディフェンスに対応できず、連続してミスをしてしまい、タイムアウトをとる。お互い相手のディフェンスに苦しむ中、山形が2度目のタイムアウト。1:1:2:1のオールコートゾーンプレスを仕掛けるが、東京は冷静にボールを運ぶ。中盤以降、東京のアウトサイドシュートが入り出し、#4金子、#8星野の3Pシュートが連続して決まる。この3Pシュートで攻撃のリズムを作った東京がその後も#5山本の3Pシュートなどで得点を重ね、27-45で2Qを終了する。

3Q, 序盤、山形は#4佐藤がリバウンドを頑張り、連続して得点する。対する東京も厳しいディフェンスからファーストブレイクを連発し、さらに点差を広げる。山形はタイムアウトをとり、なんとか流れを変えようとする。このタイムアウトが功を奏し、#8小野のジャンプシュート、#5加藤、#8小野の速攻からのシュートで得点する。しかし、東京は慌てず、#8星野の3Pシュートなどで着実に得点を重ね、45-70で3Qを終了する。

4Q, 山形は再びディフェンスをマンツーマンに戻してスタート。山形は少しでも点差を縮めようと、序盤から#15黒田のドライブからのシュート、#4佐藤の3Pシュートで奮闘する。東京は5人全員メンバーを変えても勢いは止まらず、#11張などの活躍で得点を加えていく。山形は#7武田の3Pシュート、#15黒田のバスケットカウントで最後まで粘りを見せたが、東京が山形に快勝し、決勝に進出した。

記載責任者 難波 孝芳 (所属) 新潟県バスケットボール協会